

今号には、「ぐんま広報7月号」が折り込まれています。ぜひご覧ください

令和3年(2021年)7月4日(日)

群馬県議会だより

第89号

題字は、群馬県立前橋高等学校3年生 書道部 岡本 将哉さんの書道作品です。

発行●群馬県議会 編集●県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-4131(政策広報課)

第2回定例会開催

新型コロナウイルス感染症対策などに 総額186億8千万円余の補正予算案を可決



キャベツ畑 (嬬恋村)

7月から出荷される群馬県産の夏秋キャベツは、
全国一の出荷量を誇ります。

第2回臨時会・第3回臨時会のあらまし

◇第2回臨時会は、4月16日に開催されました。

知事から、豚熱発生を踏まえた緊急対策や愛郷ぐんまプロジェクト第2弾に係る**7億1,630万円**の一般会計補正予算案が提出され、**4人**の議員による質疑が行われました。

関係する常任委員会が開催され、付託議案について審査が行われました。

常任委員会の審査結果について、委員長から報告された後、議案の採決が行われ、知事から提出された**1議案**は、**可決**されました。

◇第3回臨時会は、5月19日に開催されました。

知事から、県営ワクチン接種センターの設置・運営に係る**36億9,907万円**の一般会計補正予算案が提出され、議会からは、委員会提出議案として、群馬県議会委員会条例の一部を改正する条例案**1件**が発議されました。

5人の議員による質疑が行われた後、関係する常任委員会が開催され、付託議案について審査が行われました。

常任委員会の審査結果について、委員長から報告された後、議案の採決が行われ、知事から提出された**1議案**は、**可決**されました。また、委員会から発議された**条例案1件**も、**可決**されました。

第2回定例会のあらまし

◇第2回定例会は、5月24日から6月15日までの23日間にわたって開催されました。

【議案】

5月24日には、知事から、PCR検査機器などを整備する医療機関への支援や、コロナ禍で不安を抱える女性や生活に困窮している方への支援などの新型コロナウイルス感染症対策や、畜産物の輸出促進支援など、当初予算編成後に内示があった事業について予算化し、合計で**68億4,475万円**の増額となる**一般会計補正予算案**や監査委員の選任など**計29議案**が提出されました。

また、6月2日には、まん延防止等重点措置による営業時間短縮要請や外出自粛要請の影響を受けた事業者への支援などに係る**39億2,148万円**の増額

となる**一般会計補正予算案**が、6月11日にはまん延防止等重点措置の解除後の営業時間短縮要請などに係る**79億1,956万円**の増額となる**一般会計補正予算案**が追加提出されました。

議会からは、特別委員会の設置に係る議案や**意見書案2件**の計**3議案**が発議されました。

【正・副議長選挙及び各委員会委員の選任】

開会日には、議長・副議長の選挙、議会運営委員の選任、特別委員会の設置、常任・特別などの各委員会委員の選任が行われました。(2面及び4面参照)

【質疑及び一般質問】

12人の議員による質疑及び一般質問のほか、追加提出議案について**5人**の議員が発議を行いました。

【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査・調査を行いました。

【議決】

閉会日には、常任委員会の審査結果などについて各委員長から報告が行われた後、議案及び請願について討論と採決が行われました。

知事から提出された**34議案**は全て**可決・承認・同意**され、議会が発議した**3議案**も**可決**されました。

また、**3件**の請願が採択されました。

請願・陳情の手引きはこちら



◇可決された主な議案

- 令和3年度群馬県一般会計補正予算案
《第6号・第7号・第7号[追加提案分]・第7号[追加提案分(その2)]》
- 群馬県家畜伝染病予防法関係手数料条例の一部を改正する条例
知事認定獣医師が行う豚熱の予防的ワクチン接種に係る手数料を定めようとするもの

◇可決された意見書

- 温泉旅館業に係るほう素及びふっ素の排水規制に関する意見書
- 地方たばこ税の一部を分煙環境整備に活用できる制度の整備を求める意見書

令和3年度議会構成決まる



議場 副議長選挙 (5月24日)

令和3年第2回定例会で
正副議長、各常任委員会、
各特別委員会(4面参照)
などの議会構成が決まりました。



群馬県議会議長
井田 泉
(佐波郡・4期)



群馬県議会副議長
安孫子 哲
(前橋市・3期)

総務企画常任委員会

新たな重要施策の企画・立案、情報発信、自主財源の伸長、危機管理、地域振興、芸術文化・スポーツの振興などのほか、他の常任委員会の所管に属さない事項について審査(調査)を行います。

委員長	副委員長								
穂積 昌信 (太田市・2期)	亀山 貴史 (桐生市・1期)	久保田 順一郎 (邑楽郡・6期)	伊藤 祐司 (高崎市・4期)	後藤 克己 (高崎市・4期)	岸 善一郎 (高崎市・3期)	安孫子 哲 (前橋市・3期)	斉藤 優 (伊勢崎市・1期)	大林 裕子 (北群馬郡・1期)	

健康福祉常任委員会

消費者行政の推進、私学振興、少子化対策・保健・医療の充実、社会福祉・社会保障の充実、食品の安全確保などについて審査(調査)を行います。

委員長	副委員長								
泉沢 信哉 (館林市・2期)	秋山 健太郎 (太田市・1期)	星名 建市 (渋川市・4期)	井下 泰伸 (伊勢崎市・3期)	酒井 宏明 (前橋市・3期)	金子 渡 (渋川市・3期)	薬丸 潔 (太田市・3期)	本郷 高明 (前橋市・2期)	森 昌彦 (邑楽郡・1期)	

環境農林常任委員会

環境対策、林業振興対策、食料・農業・農村振興対策、農林漁業災害対策などについて審査(調査)を行います。

委員長	副委員長								
今泉 健司 (みどり市・2期)	牛木 義 (甘楽郡・1期)	星野 寛 (利根郡・6期)	狩野 浩志 (前橋市・5期)	小川 晶 (前橋市・3期)	井田 泰彦 (桐生市・2期)	矢野 英司 (富岡市・1期)	相沢 崇文 (桐生市・1期)		

産経土木常任委員会

中小企業の振興、観光物産の振興、労働者支援と労働環境整備、道路・橋梁の整備促進、交通対策、河川・砂防対策の促進、災害復旧対策、公営企業の推進などについて審査(調査)を行います。

委員長	副委員長								
大和 勲 (伊勢崎市・2期)	松本 基志 (高崎市・1期)	岩井 均 (安中市・6期)	水野 俊雄 (前橋市・4期)	萩原 涉 (吾妻郡・4期)	川野辺 達也 (邑楽郡・2期)	八木田 恭之 (太田市・1期)	入内島 道隆 (吾妻郡・1期)	高井 俊一郎 (高崎市・1期)	金沢 充隆 (藤岡市・多野郡・1期)

文教警察常任委員会

教育施設の整備促進、教育体制の確立、交通事故防止対策、災害救助対策などについて審査(調査)を行います。

委員長	副委員長								
伊藤 清 (安中市・2期)	神田 和生 (藤岡市・多野郡・1期)	中沢 文一 (前橋市・8期)	福重 隆浩 (高崎市・5期)	橋爪 洋介 (高崎市・5期)	角倉 邦良 (高崎市・4期)	中島 篤 (高崎市・4期)	あべ ともよ (太田市・4期)	金井 康夫 (沼田市・3期)	加賀谷 富士子 (伊勢崎市・2期)

質疑及び一般質問

令和3年5月28日、31日、6月2日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

5月28日(金)



◎女性活躍推進の取組について

自由民主党 川野辺 達也

Q 育児や家事、介護などを女性が担うといった固定的な性別役割分担意識を解消し、女性が活躍できるように、県はどのように取り組むのか伺います。

A 女性がさらに活躍をするためには、固定的な性別役割分担意識を解消し、男女がともに仕事や家庭、地域活動などを両立できる環境を整備していく必要があります。セミナーや各種広報媒体を活用した意識啓発のほか、今年度は、将来の地域の女性リーダーとなる人材の育成に取り組みます。また、男女ともに働きやすい職場環境の整備を進めるため、企業認証制度を推進し、男性の育児休業取得や長時間労働の是正等を一層促進してまいります。



◎コロナ禍における県の経済・雇用政策に対する現場の声の反映について

リベラル群馬 角倉 邦良

Q 経済・労働団体等の現場の声は、県の経済・雇用政策にどのように反映されているのでしょうか。

A 現場で経済を担う方々の声をしっかり聞き、タイムリーに実施していくことは極めて重要です。経済団体や業界団体、金融機関や国、市町村のほか、連合群馬などの労働団体とも定期的に意見交換を行い、最長7年間実質無利子の制度融資の創設や雇用調整助成金の申請支援などの施策に反映しています。引き続き、地域経済の現場を担う方々の声に真摯に耳を傾け、可能な限り経済・雇用対策に反映してまいります。



◎危機管理について

自由民主党 松本 基志

Q 就任後、令和元年台風第19号をはじめとした自然災害のほか、豚熱や新型コロナウイルス感染症などに対処されましたが、本県の危機管理に対する知事の思いについて伺います。

A 知事就任以降、様々な危機管理を経験しましたが、危機管理には、「素早い決断と迅速な行動」、「一喜一憂しない冷静な判断力」、「タイムリーな情報発信」、「中長期的な視点」、「市町村、県議会、県職員との信頼関係」の5点が重要と考えています。この点を常に念頭に置いて取り組んでまいります。



◎県営ワクチン接種センターの設置について

令明 あべ ともよ

Q 市町村の接種計画への影響等を抑えながら、設置の効果を最大限に発揮するためにどのような工夫をするのでしょうか。

A 市町村の接種計画に影響を及ぼすことのないよう、予約受付や接種記録の方法などに配慮するとともに、県立病院のスタッフをはじめ、潜在看護師や研修医など、幅広く人材確保に取り組んでまいります。また、接種を円滑に実施するための運営体制協議会も立ち上げ、医療機関等に協力をお願いしています。



東毛ワクチン接種センター

5月31日(月)



◎県が考える夜間中学の役割と設置について

自由民主党 井下 泰伸

Q 外国人との共生・共創の社会づくりを推進するために、夜間中学の設置は大切であると考えますが、夜間中学の役割と設置についてどのように考えているか伺います。

A 夜間中学には、不登校経験者、高齢者、外国人など多様なキャリアを持つ方々が、互いに学び合い、地域で共に暮らす基盤を作り上げる役割があると考えます。設置の必要性を強く感じている市町村や入学希望者にとってニーズの高い地域がありますので、設置主体や設置場所、設置時期を含めた検討を進めてまいります。



◎流域治水プロジェクトについて

公明党 福重 隆浩

Q 昨年度策定された「流域治水プロジェクト」の内容と今後の取組について伺います。

A 流域治水プロジェクトには、河川管理者である国や県が実施するハード・ソフト対策のほか、市町村が行う市街地の内水対策や住民が行う雨水貯留・浸透など、流域に関わる全ての関係者が主体的に取り組む対策が取りまとめられています。県においては、ハード対策として、利根川や烏川など22カ所で約23.3kmの河川改修と、太田市の石田川や高崎市の井野川で4つの調節池の整備を進めるほか、ソフト対策として、339河川で水位計と河川監視カメラの設置を計画的に推進してまいります。



◎県政にかかる若者との対話について

自由民主党 高井 俊一郎

Q 高校生から県政へ「勇気の日」の提案がありました。知事が直接、若者の声を聞く機会には有意義と考えますが、いかがでしょうか。

A 社会に関心を持ち、自らの考えを発信しようという若者の積極的な行動は、新・総合計画ビジョンで示した、自分の意志で一步踏み出し、勇気を持って、新たなことに挑戦する人である「始動人」と方向性を同じくするものです。若者の考えを直接聞くことは有意義で、大切なことであり、若者にとっても地方自治や地域の課題に関心を持つきっかけとなります。知事と高校生が意見交換する機会も設けていきたいと考えています。



◎繊維産業の振興について

自由民主党 森 昌彦

Q ニットをはじめとした繊維産業の振興に向けたきめ細やかな支援が必要と思いますが、県の考えについて伺います。

A ニットをはじめとした繊維産業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、県としては、繊維工業試験場による技術支援や研修の実施、ジェットロ群馬と連携した海外市場への進出支援などを実施しています。太田地域には、特色のあるニット生産企業が集積しており、太田産ニットのブランド化に取り組むなど新たな動きも出てきています。引き続き、販路開拓や人材育成などの取組を継続的に支援し、県内繊維産業の振興を図ってまいります。

6月2日(水)



◎新型コロナウイルス感染症の経済対策について

自由民主党 橋爪 洋介

Q ようやくワクチン接種がスタートしましたが、コロナとの闘いは「道半ば」です。引き続き県内事業者を支える新たな支援策について伺います。

A 4月末からの感染拡大により、幅広い業界から支援を求める切実な声が寄せられています。より多くの事業者を幅広く支援し、事業を継続してもらうため、今議会に国の支援制度を補完する新たな支援金制度に係る補正予算を追加提案しました。困窮する事業者の元に一刻も早く支援金や協力金を届けるため、迅速に対応してまいります。



◎ゲートキーパー(※)の役割と養成に向けた取組について

リベラル群馬 小川 晶

Q ゲートキーパーの役割についての考えと養成に向けた取組、令和2年度のゲートキーパー養成講座の実施状況について伺います。

A ゲートキーパーの気づきは、身近な人のかけがえない命を守ることにつながるため、その養成は重要な取組と考えます。県では、出前講座の実施や市町村等での研修開催支援のための指導者養成に取り組んでいます。なお、令和2年度の養成数は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度の3分の1の約1,200人ととどまりましたが、累計は20,000人を超えました。今後は、オンラインの活用を含め、効果的な研修方法について検討してまいります。



◎男井戸川の河川改修事業について

自由民主党 斉藤 優

Q 現状と今後の見通しについて伺います。

A 男井戸川については、伊勢崎市街地で頻発する洪水被害を軽減するため、最上流部に調節池を整備するとともに、最下流の粕川合流点から調節池までの区間の川幅を広げる事業を進めています。これまでに調節池が概成したほか、約600mの区間の工事が完成しています。今年度は、伊勢崎市上諏訪町の約140mの区間において河川の拡幅と取水堰の改築工事を行う予定です。令和7年度の完成を目指して、整備を推進してまいります。



◎県民の命と暮らしを守る公共事業予算の確保について

自由民主党 岩井 均

Q 県民の命と暮らしを守るためには、財政健全化に配慮しながらも、財源上有利な国の予算をできる限り活用して防災・減災、県土強靱化を進めるべきではないでしょうか。

A 今後、財政の健全性を確保しつつ、必要な公共事業を計画的に推進するためには、新たな県土整備プランに基づき10年間の投資総量を適正に管理していかなければならないと考えています。県民の命と暮らしを守る公共事業についても、財源上有利な国の予算を活用しつつ、県土整備プランに基づきしっかりと推進してまいります。

※ゲートキーパー…自殺のおそれなど身近な人のこころの危機に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることができる人のこと。

4つの特別委員会が設置されました。

特別委員会は、県政の特に重要な特定事件を審査するために設置し、議会としての意見・提案をまとめます。

◎ 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策について、一体的、横断的、集中的に審査を行います。

審査事項

- ◆新型コロナウイルス感染症の警戒度、緊急事態宣言に関すること
- ◆新型コロナウイルス感染症の検査・医療体制に関すること
- ◆新型コロナウイルス感染症の県民生活への影響に関すること
- ◆新型コロナウイルス感染症の産業への影響に関すること
- ◆新型コロナウイルス感染症の教育への影響に関すること
- ◆ウイズコロナ、アフターコロナに関すること

委員構成

- ◎星野 寛(自) ○中島 篤(自) 狩野 浩志(自) 橋爪 洋介(自)
- 角倉 邦良(リ) 水野 俊雄(公) あべともよ(令) 酒井 宏明(共)
- 松本 基志(自) 八木田恭之(リ) 秋山健太郎(自) 牛木 義(自)

◎ デジタルトランスフォーメーションに関する特別委員会

デジタルトランスフォーメーションについて、一体的、横断的、集中的に審査を行います。

審査事項

- ◆行政のデジタルトランスフォーメーションに関すること (行政改革を含む)
- ◆県民生活のデジタルトランスフォーメーションに関すること
- ◆産業のデジタルトランスフォーメーションに関すること
- ◆教育のデジタルトランスフォーメーションに関すること

委員構成

- ◎久保田順一郎(自) ○金井 康夫(自) 星名 建市(自) 伊藤 祐司(共)
- 井下 泰伸(自) 薬丸 潔(公) 小川 晶(リ) 齊藤 優(自)
- 相沢 崇文(自) 金沢 充隆(令) 亀山 貴史(自)

◎ 脱炭素社会・新エネルギーに関する特別委員会

脱炭素社会及び新エネルギーについて、一体的、横断的、集中的に審査を行います。

審査事項

- ◆「ぐんま5つのゼロ宣言」に関すること
- ◆SDGs17ゴールのうち Goal7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、Goal13「気候変動に具体的な対策を」、Goal15「陸の豊かさを守ろう」に関すること
- ◆脱炭素社会づくりに関すること

委員構成

- ◎中沢 丈一(自) ○大和 勲(自) 福重 隆浩(公) 後藤 克己(リ)
- 萩原 渉(自) 金子 渡(令) 伊藤 清(自) 本郷 高明(リ)
- 泉沢 信哉(自) 矢野 英司(新) 神田 和生(自)

◎ 地方創生・ブランドに関する特別委員会

地方創生及び群馬のブランド化について、一体的、横断的、集中的に審査を行います。

審査事項

- ◆官民共創コミュニティに関すること ◆地域課題解決に関すること
- ◆スポーツによる地域創生に関すること ◆アーティスティックGUNMAに関すること
- ◆温泉文化に関すること ◆群馬のブランド化に関すること
- ◆公共交通に関すること

委員構成

- ◎岩井 均(自) ○川野辺達也(自) 岸 善一郎(自) 穂積 昌信(自)
- 井田 泰彦(令) 加賀谷富士子(リ) 今泉 健司(自) 大林 裕子(裕)
- 森 昌彦(自) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自)

*◎印は委員長、○印は副委員長です。
 *(自)は自由民主党、(リ)はリベラル群馬、(令)は令明、(公)は公明党、(共)は日本共産党、(裕)は裕心会、(新)は新時代、(如)は如水会を表します。

その他の委員会の構成

議会運営委員会

議会がスムーズに運営できるよう、議会運営の全般について協議を行います。

- ◎萩原 渉(自) ○泉沢 信哉(自) 中沢 丈一(自)
- 星名 建市(自) 水野 俊雄(公) 後藤 克己(リ)
- 中島 篤(自) 金井 康夫(自) 小川 晶(リ)
- 大和 勲(自) 川野辺達也(自) 井田 泰彦(令)
- 今泉 健司(自)

図書広報委員会

議会の広報、議会図書室の運営について協議を行います。

- ◎橋爪 洋介(自) ○齊藤 優(自) 福重 隆浩(公)
- あべともよ(令) 酒井 宏明(共) 本郷 高明(リ)
- 相沢 崇文(自) 神田 和生(自) 亀山 貴史(自)
- 秋山健太郎(自)

議会基本条例推進委員会

議会基本条例の理念を実現するため、議会改革等について協議を行います。

- ◎狩野 浩志(自) ○伊藤 清(自) 星名 建市(自)
- 中島 篤(自) 金井 康夫(自) 薬丸 潔(公)
- 川野辺達也(自) 加賀谷富士子(リ) 泉沢 信哉(自)
- 八木田恭之(リ) 神田 和生(自) 金沢 充隆(令)

トピックス Topics

◎議長・副議長就任記者会見を行いました



5月24日に新たに議長に就任した井田泉議員(写真左)と副議長に就任した安孫子哲議員(写真右)が記者会見を行いました。

井田議長は、県執行部の動きに後れを取らないよう、議会改革を進める考えを示したほか、議会のデジタル化や政治家を志したきっかけ、これまでの議員活動で印象に残った出来事などについて、記者の質問に答えました。

県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。

◎県議会だよりはスマートフォン等でご覧になれます。



◎過去の県議会だよりはこちらからご覧ください。



県議会ホームページ 群馬県議会 検索
県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。



令和3年第3回定例会のご案内

会期は9月21日から12月14日の予定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場での傍聴はご遠慮いただき、テレビやインターネットによる中継をご覧ください。



◎本会議・委員会開催日程

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
9月21日	火	本会議 (開会・提案説明)	10月26日	火	決算特別委員会 (総括質疑・採決)
27日	月	本会議 (質疑及び一般質問)	11月1日	月	本会議 (決算委員長報告・議決)
28日	火		24日	水	本会議 (後期開会・提案説明)
30日	木	常任委員会	29日	月	本会議 (質疑及び一般質問)
10月4日	月		30日	火	
5日	火	特別委員会	12月2日	木	常任委員会
7日	木	本会議 (委員長報告・議決・決算提案説明)	6日	月	特別委員会
12日	火	決算特別委員会 (分科会)	7日	火	
18日	月		9日	木	本会議 (委員長報告・議決・閉会)
19日	火		14日	火	

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。(開会はおおむね午前10時からです。)

◎県議会議中継

テレビ ★群馬テレビ 午前10時～〈生中継〉

本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

インターネット ★県議会ホームページ「議会議中継」〈生中継〉〈録画〉

本会議(全日程)と決算特別委員会総括質疑をご覧ください。

スマートフォンは
こちらから



- ◎「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和3年11月7日(日)発行予定です。
- ◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。
☎027-897-2891 FAX 027-243-4211 ✉giseisaku@pref.gunma.lg.jp